

交野市教委ニュース

第40号 (平成28年6月1日発行)

ネイティブの英語に触れる

交野市では、これまでカナダから外国語指導助手(ALT)を招聘し、小中学校を中心に外国語活動や英語の時間に活用していましたが、今年度より、更に、活動範囲を広げます。

そのひとつとして、市内の保育所や幼稚園から要望があれば派遣し、英語でのゲームや歌の交流、英語で絵本の読み聞かせ等、を考えております。

5月30日(月)には、あさひ幼稚園で、ALT2名が5歳児クラスで、絵本を読み、園児と交流をしました。

子どもたちは、英語での絵本の読み聞かせに興味深く参加し、ALTの周りに集まって交流したり、時折、ネイティブ並みの発音で単語を言ったりと楽しい時間を過ごしました。

5歳児クラスですので、来年度、小学校入学後にもALTと一緒に活動をする時間があります。

交野市では、小中学校の外国語活動や英語で、これからの子どもたちに必要な能力が身につくよう取組みの充実を図ります。

市教育委員会では、6月以降も、小中学校でのALTの活動と調整しながら、市内の保育所や幼稚園に活動を広げます。

また、夏休みには、イングリッシュ・クッキングとして、市給食センターや栄養教諭とともに、親子で料理をしながら英語に親しめる機会を設けます。

ALTは事前準備をして、一生懸命子どもたちにお話をしました。



「はらぺこあおむし」の読み聞かせでは、「one apple」など、子どもたちの声が聞こえていました。また、楽しく、ダンスでの交流もできました。子どもたちは、最後に、バイバイの大きな声で手を振ってお別れしました。